

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業(国補)]	事業箇所	大月市猿橋町伊良原	地区名	(一)梁川猿橋線(伊良原工区)	事業主体	山梨県
-----	-----------------------	------	-----------	-----	-----------------	------	-----

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 一般県道梁川猿橋線は、大月市の梁川地域と猿橋地域を結ぶ生活道路であり、沿線には市営団地や新興住宅地が存在する。当該箇所は幅員が狭く普通車のすれ違いができない上、歩道もないことから、歩行者の通行に危険な状況となっている。また、付近には小学校もあり、登下校時にスクールバスが停車するため、児童の安全確保のためにも早急な道路整備が望まれており、大月市においては、学校敷地の一部をスクールバス乗降場として整備を実施している。  
 このことから、当該箇所の未整備区間について早期に道路改良を実施する必要がある。

**②整備目標・効果**

□主要目標 ○歩行者等の安全性の確保

- 歩行者・自転車交通量：126人台/12h (R3実測値)  
 >93人台/12h以上(平日)※
- 自動車交通量：514台/12h (H27概算) <3,428台/12h(平日)※
- 通学路の指定：あり※(猿橋小学校)
- 現況の歩道幅員：0m<1.4m未満※ ※評価基準値

□副次目標 ○生活圈中心都市・拠点機能へのアクセス向上

- 混雑時走行速度：20km/h (R3実測値) < 30km/h※
- 自動車交通量：514台/12h (H27概算) <3,428台/12h(平日)※ ※評価基準値

□副次効果 ○バリアフリー化の促進

- 車椅子で通行可能な幅員の確保、段差・傾斜・勾配の改善

**(2) 整備内容**

①整備内容 道路改良 L=180m W=5.5(10.0) m

②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和9年度

④総事業費 約500百万円(国費302百万円(6.05/10)県費198百万円(3.95/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	詳細設計	10 百万円
令和5年度	用地測量調査・用地買収	15 百万円
令和6~7年度	用地買収	375 百万円
令和8~9年度	道路改良工事	100 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費  
 道路改良 L=200m W=5.5(9.5) m H23~H27 395百万円

**(3) 事業の妥当性評価** 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)  
 ○    
 ・一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い。

②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)  
 ○    
 ・道路法第15条により県が行うべき事業である。

③経済妥当性  ○

総事業費	500 百万円	工期	R4~R9	基準年	R4
経済効率性	費用	411 百万円	便益 537 百万円		
	建設費	399 百万円	走行時間短縮	401 百万円	
	維持管理費	12 百万円	走行費用減少	86 百万円	
			交通事故減少	13 百万円	
			その他※	37 百万円	
B/C		1.3			

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益  
 費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。

④事業実施・規模の妥当性  ○

- 道路整備に必要な必要最低限の範囲とする。

⑤整備手法の有効性  ○

- 周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。

⑥環境負荷等への配慮  ○

- 景観に配慮した計画とする。

⑦事業計画の熟度  ○

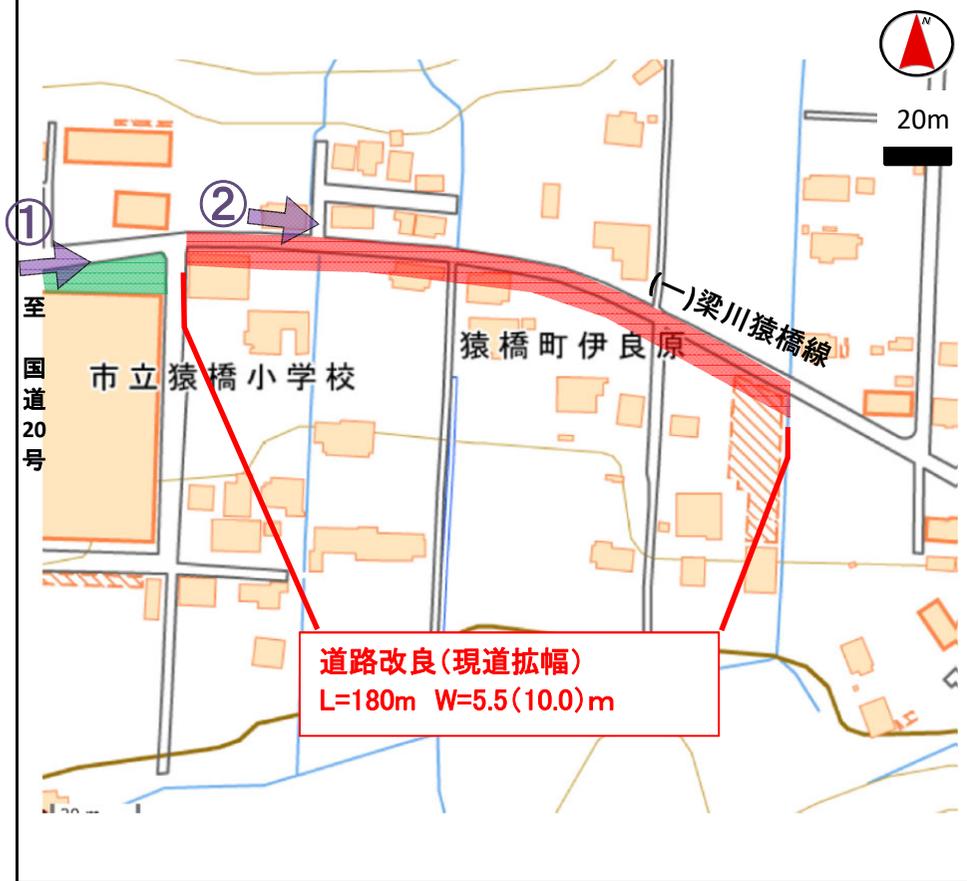
- 大月市から早期整備の要望を受けており、地元より了解を得ている。

総合評価 [貢献度ランク：a]

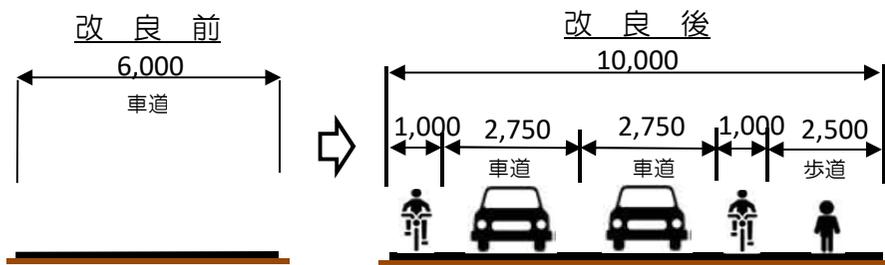


## 2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断図】



【写真①】猿橋小学校の通学状況



【写真②】スクールバスとのすれ違い困難

